

部課名		道路部道路政策課											
課の使命		<p>○市民が暮らしやすい都市の実現を目指して、良好な道路等の都市基盤を形成します。</p> <p>○総務機能・調整機能を発揮し、部の使命達成に貢献します。</p>											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	-	新たな「東京における都市計画道路の整備方針(仮称)」の策定	東京都が設置した「東京における都市計画道路の整備方針(仮称)」専門アドバイザー委員会や「東京における都市計画道路の整備方針(仮称)」都・区市町策定検討会議への参加を通して、整備方針を策定します。	整備方針の策定	完了	○	専門アドバイザー委員会を2回(5月、7月)、都・区市町策定検討会議を1回(7月)、都・区市町検討会を2回(5月、7月)行い、「東京における都市計画道路の整備方針(仮称)中間のまとめ」を7月に公表し、パブリックコメントを8月まで行いました。	パブリックコメントでいただいたご意見を踏まえ、引き続き検討し、「東京における都市計画道路の整備方針(仮称)」を策定します。	2025年度に専門アドバイザー委員会を5回、都・区市町策定検討会議を4回、都・区市町検討会を5回開催し、学識経験者から専門的見地からの助言を受け、東京都、各区市町と協働で調査検討を進めました。また、7月に中間のまとめ、12月に整備方針(案)に対するパブリックコメント等により広く意見募集を実施し、お寄せいただいたご意見ご提案を踏まえ、2026年3月に「東京における都市計画道路の整備方針」を策定しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	本整備方針に基づき都市計画道路事業の着実な事業着手及び着手済みの事業を推進していきます。
2	経営改革プラン	道路アセットマネジメントの推進	街路灯の持続的な維持管理を実現するため、街路灯維持管理計画を策定します。	街路灯維持管理計画の策定	完了	○	街路灯維持管理計画の策定に向けて、関係部署と調整しました。	引き続き関係部署と調整し、街路灯維持管理計画を策定します。	街路灯の持続的な維持管理を実現するため、効率的な点検手法や点検結果に基づく健全度の評価手法などについて関係部署と調整を行い、コストの低減や平準化を図るための街路灯維持管理計画を策定しました。また、予防保全型維持管理の取組を推進するため、街路灯の点検ポイントをまとめたシートを作成し、全道路部職員が街路灯の異常を発見できる環境を整えました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	本計画に基づき、点検や修繕を実施するなど、街路灯について、予防保全型の維持管理を行います。
3	人材育成	「市民志向」/「チームワーク志向」	道路部職員の能力向上を目的とした研修等を開催します。また、動画や資料を共有のフォルダーに格納し、いつでも学べる環境を整備します。道路部職員を内部講師として、部内研修の運営等に携わってもらうことで、能力を発揮できる場や経験を積む機会とします。	研修開催	9回	○	9月末までに7回の研修を実施しました。総合水防訓練(実動訓練)については、台風シーズンに入る前に具体的な被害想定を基に指示・判断、対応の流れを確認し、災害対応力を高める事が出来ました。防災システム操作研修については、市民からの通報を聞き取るロールプレイ形式で行うなど、実践的な研修内容に見直し即職力向上を図る事が出来ました。初めての取組として、外部講師を招きアンガーマネジメント研修を実施し、怒りの感情をコントロールする方法を学び、より良い職場環境を作る一助とすることができました。また、職員から要望のあった熱中症対策をテーマに、市と包括的連携協定を締結している大塚製薬株式会社の協力を得て、健康教育研修を実施し、職員から好評を得ました。	10月に地震を想定した防災訓練(実動訓練)、11月に外部機関(関東道路メンテナンスセンター)の知見を活用した、ベドストリアンデッキの点検研修などを予定しています。研修資料については、部共有のフォルダーに格納し、いつでも学べる環境を整備します。	19回の研修を行い(延べ479人受講)、うち、5つの研修を新規に実施しました。全受講者の5割弱から高評価を得ました。災害対策訓練では、事前説明会を実施し、橋梁緊急点検パトロールのルート確認を行うなど、より実際の災害を想定した訓練を行いました。「橋梁点検研修」「誤積算防止研修」では、部内職員が講師として登壇し、これまでに培った経験や知識を発揮する機会を得ると共に、経験を積む場とすることができました。また、新たな取り組みとして外部講師を招き、「アンガーマネジメント研修」「ハラスメント防止研修」「ベドストリアンデッキ点検研修」「熱中症対策研修」を行いました。「ハラスメント防止研修」では相手を尊重することの大切さについて、改めて学ぶ良い機会となりました。	19回	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、効果を検証しながら、災害対策訓練等、道路部職員として必要な能力の向上を目指して研修等を開催します。また、部内職員から要望の多い研修を実施していきます。

部課名		道路部道路整備課											
課の使命		道路等の整備を効果的・効率的に行い、快適で安全な道路環境を提供することで、道路を利用するすべての人が移動しやすいまちをつくります。											
実行計画(年度目標)													
順位	計画類型	取組項目	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	駅周辺施設の整備	<p>①鶴川駅南北自由通路整備と、鶴川駅北口交通広場整備(バスシェルター工事等)を進めます。</p> <p>②鶴川駅南口アクセス道路の事業用地取得及び工事(整備延長約600mの内約220mを2025年度実施)を進めます。</p> <p>③相原駅東口アクセス路等の事業用地取得及び工事(整備延長約650mの内約60mを2025年度実施)を進めます。</p>	<p>①工事实施</p> <p>②用地取得率工事实施</p> <p>③用地取得率工事实施</p>	<p>①完了(2025年度分)</p> <p>②65%(面積比)完了(2025年度分)</p> <p>③77%(面積比)完了(2025年度分)</p>	○	<p>①鶴川駅南北自由通路:協定や契約を締結して整備を進めています。鶴川駅北口交通広場整備:バスシェルター工事が入札参加者を欠いたため契約に至りませんでした。街築工事:バスシェルター工事の影響を受け規模縮小を行い、9月に工事の契約を締結しました。</p> <p>②用地取得:用地取得率は63%となっています。工事:10月に工事の契約を締結する予定です。</p> <p>③用地取得:用地取得率は75%となっています。工事:7月に工事の契約を締結しました。</p>	<p>①鶴川駅南北自由通路:2025年度分の工事を完了させます。鶴川駅北口交通広場整備:バスシェルター工事は再入札を行います。街築工事:2025年度分の工事を完了させます。</p> <p>②用地取得:用地取得を進めます。工事:2025年度分の工事を完了させます。</p> <p>③用地取得:用地取得を進めます。工事:2025年度分の工事を完了させます。</p>	<p>①鶴川駅南北自由通路:2025年度分の工事が完了しました。鶴川駅北口交通広場整備:入札不調により再度発注を行い、12月に工事の契約を締結しました。契約不調に伴い、工程を見直して2ヶ年債務工事に切替えました。街築工事:2025年度分の工事が完了しました。</p> <p>②用地取得:積極的に用地折衝を行った結果、用地取得が進み、累積の用地取得率が予定を上回る96%に達しました。工事:川崎市との設計協議および占用企業者との支障物移設に期間を要し、工事着手時期に遅れが生じました。これに伴い、事業全体工程における各工事実施年度の調整を行いました。</p> <p>③用地取得:積極的に用地折衝を行った結果、用地取得が進み、累積の用地取得率が予定を上回る80%に達しました。工事:2025年度分の工事が完了しました。</p>	<p>①鶴川駅南北自由通路:完了(2025年度分)</p> <p>鶴川駅北口交通広場整備:契約済街築工事:完了(2025年度分)</p> <p>②用地取得:96%(面積比)工事:未完了(2026年度に繰越)</p> <p>③用地取得:80%(面積比)工事:完了(2025年度分)</p>	C	C:目標水準を達成したためです。	事業を円滑に進めるため引き続き進捗管理を行います。
2	重点事業プラン	<p>①都市計画道路3・3・7号(成瀬)の整備</p> <p>②都市計画道路3・4・11号(原町田大通り)の整備</p> <p>③都市計画道路3・4・22号(小野路)の整備</p> <p>④都市計画道路3・4・41号(小山)の整備</p> <p>⑤都市計画道路3・4・9号(成瀬)の整備</p> <p>⑥都市計画道路3・4・34号(南大谷)の整備</p>	<p>①都市計画道路3・3・7号(成瀬)の事業用地取得を進めます。</p> <p>②都市計画道路3・4・11号(原町田大通り)の事業用地取得を進めます。</p> <p>③都市計画道路3・4・22号(小野路)の事業用地取得を進めます。</p> <p>④都市計画道路3・4・41号(小山)の交差点工事を進めます。</p> <p>⑤都市計画道路3・4・9号(成瀬)の道路及び交差点設計を進めます。</p> <p>⑥都市計画道路3・4・34号(南大谷)の道路及び交差点設計を進めます。</p>	<p>①用地取得率</p> <p>②用地取得率</p> <p>③用地取得率</p> <p>④工事实施</p> <p>⑤道路及び交差点設計実施</p> <p>⑥道路及び交差点設計実施</p>	<p>①67%(面積比)</p> <p>②15%(面積比)</p> <p>③39%(面積比)</p> <p>④完了</p> <p>⑤完了</p> <p>⑥完了</p>	○	<p>①用地取得率は52%となっています。</p> <p>②用地取得率は11%となっています。</p> <p>③用地取得率は28%となっています。</p> <p>④9月末に開通しました。</p> <p>⑤⑥8月に設計の契約を締結しました。</p>	<p>①用地取得を進めます。</p> <p>②用地取得を進めます</p> <p>③用地取得を進めます。</p> <p>④引き続き軽微な工事を行い事業を完了させます。</p> <p>⑤⑥2025年度分の設計を完了させます。</p>	<p>①継続して用地折衝を行いました。今年度の用途取得には至りませんでした。</p> <p>②積極的に用地折衝を行った結果、用地取得が進み、累積の用地取得率が予定を上回る30%に達しました。</p> <p>③積極的に用地折衝を行った結果、用地取得が進み、累積の用地取得率が予定を上回る49%に達しました。</p> <p>④工事が完了し全線開通しました。</p> <p>⑤⑥設計は完了しました。今後関係機関協議を実施していきます。</p>	<p>①52%(面積比)</p> <p>②30%(面積比)</p> <p>③49%(面積比)</p> <p>④事業完了</p> <p>⑤完了</p> <p>⑥完了</p>	C	C:目標水準を達成したためです。	事業を円滑に進めるため引き続き進捗管理を行います。

順位	計画類型	取組項目	年度目標設定			中間確認		年度末確認					
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
3	重点事業プラン	無電柱化事業の推進	①町田623号線の電線共同溝工事を進めます。(整備延長約900mの内約260mを2025年度実施) ②町田835号線(原町田中央通り)の電線共同溝工事を進めます。(整備延長約410mの内約30mを2025年度実施) ③町田37号線(文学館通り)の支障移設工事を進めます。	①工事実施 ②工事実施 ③工事実施	①完了(2025年度分) ②完了(2025年度分) ③完了(2025年度分)	○	①6月に工事の契約を締結し、工事を行っています。 ②5月に工事の契約を締結し、工事を行っています。 ③支障移設工事に先立ち一方通行化工事が完了しました。	①2025年度分の工事を完了させます。 ②2025年度分の工事を完了させます。 ③2025年度分の支障移設(占用企業者)工事を完了させます。	①2025年度分の工事が完了しました。 ②2025年度分の工事が完了しました。 ③2025年度分の工事が完了しました。	①完了(2025年度分) ②完了(2025年度分) ③完了(2025年度分)	C	C:目標水準を達成したためです。	事業を円滑に進めるため引き続き進捗管理を行います。
4	重点事業プラン	準幹道路線新設改良事業	忠生630号線の道路改良工事を進めます。	工事実施	完了	○	6月に工事の契約を締結し、工事を行っています。	事業が完了し、全線開通します。	2025年度分の工事が完了し、全線開通しました。	事業完了	C	C:目標水準を達成したためです。	事業を円滑に進めるため引き続き進捗管理を行います。
5	-	尾根緑道の整備	忠生732号線(尾根緑道)について、舗装、排水、擁壁工事等を進めます。	工事実施	完了(2025年度分)	○	5月に工事の契約を締結し、工事を行っています。	2025年度分の工事を完了させます。	2025年度分の工事が完了しました。	完了(2025年度分)	C	C:目標水準を達成したためです。	事業を円滑に進めるため引き続き進捗管理を行います。
6	事務事業見直し	未利用地、低利用地の有効活用	道路整備課が所管する未利用地または低利用地について、売却や貸付または所管換等の整理を進めます。	処置件数	7件	○	隣接する土地の所管課と調整し、2件所管換を行いました。	売却や貸付または所管換等の整理を進めます。 貸付2件 使用許可1件 所管換2件 売却3件	道路整備課が所管する未利用地または低利用地について、入札による貸付4件、使用許可2件、所管換4件、売却3件を実施しました。	13件	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	財源確保と管理費抑制のため、引き続き未利用地の整理及び有効活用を進めます
7	人材育成	「チャレンジ志向」/職員の業務遂行力の向上	業務遂行に必要な知識や技術力の習得のため、勉強会の開催及び選択研修(東京都技術講習会、補助事業説明会、用地補償科、土地評価科、土地収用等)受講の機会を設けます。	勉強会実施 選択研修の受講回数	5回 27回(1回/1人)	○	勉強会を3回実施しました。 選択研修受講回数は14回です。	勉強会を2回実施予定です。 引き続き、業務に必要な研修を受講します。	勉強会を8回実施しました。 選択研修受講回数は27回です。 用地係14回(1回/1人)(延べ31回) 工事係13回(1回/1人)(延べ31回)	8回 27回	C	C:目標水準を達成したためです。	業務遂行力向上のため、今後も勉強会を行い、知識習得を行います。

部課名		道路部道路管理課											
課の使命		すべての人が道路を安全・安心で、快適に利用できるよう適正な管理を行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	-	道路の不具合の早期発見・早期対応	市民通報の統計情報から、件数の多い路線や地域、通報内容の傾向を分析してパトロールを行い、道路の不具合の早期発見・早期対応を進めます。	パトロールによる道路の不具合の発見件数	150件	○	日頃からパトロールを実施し、9月末時点で66件の道路の不具合を発見し、補修対応等を行いました。	引き続き、道路上の危険箇所の早期発見・早期対応に努めます。	・市民通報を受けて現地調査を行う際に、調査地近くにおける市民要望の多い路線のパトロールをあわせて行うようにしました。当初の目標値を上回る道路の不具合を発見することが出来、早期に補修対応等を行うことができました。 ・日頃のパトロールに加え、道路部内でLINEによる違反広告物等の通報体制を構築し、1月から運用を開始しました。	153件	C	C:目標水準を達成したためです。	今後も継続的にパトロールを実施し、道路上の危険箇所の早期発見・早期対応に努めます。
2	-	町田市公式LINEの道路通報機能の利用促進	町田市公式LINEに追加した道路通報機能について、多方面に広報や啓発を行います。	全通報に対するLINEによる通報の割合	18%	○	要望者へLINE通報を案内する等の周知活動により、上半期のLINE通報割合は19.5%となりました。昨年度末まで利用していた市民通報アプリからLINEへの円滑な切り替えができています。	引き続き周知活動を行い、LINE通報割合の増加に努めます。	・旧市民通報アプリからLINEへの円滑な切り替え、電話による要望者への継続的な周知活動により、年間のLINE通報割合が20%を上回りました。 ・LINE利用者へのアンケートを実施し、約70%から満足していると回答がありました。また、アンケート結果を踏まえ、操作性の改善等を実施しました。	20.3%	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き、必要な改善を行い、更なる満足度向上とLINE通報割合の増加に努めます。
3	事務 事業 見直し	未利用地の活用・売却	未利用地の売却や利用に向け、測量や財産処理に必要な調査などを実施します。	2026年度売却予定地の測量等の実施	完了	○	売却予定地が無地番であるため、表示登記に必要な地積測量を行いました。	測量結果をもとに、表示登記を行います。その後、公有財産規則にもとづく財産処理(公有財産登録および用途廃止)を行います。	・売却予定地の測量結果をもとに、表示登記を行うとともに、埋設物位置調査を行いました。 ・道路区域で未利用になっていた用地の調査・活用方法の検討を行った結果、道路区域の変更を行うことで、貸付入札を行うことができました。	・測量および調査の完了 ・貸付入札の実施	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	他部署との調整を引き続き円滑に進め、次年度は売却に向けて市有財産活用課への引継ぎ(所管替)業務を行います。
4	-	市内各駅周辺における駐輪場の利用状況の平準化に向けた促進の周知啓発	新たな街づくり等にあわせた駐輪場の整備方針の策定や、駐輪場の案内・周知等、駐輪場を使いやすい環境を整えます。	①町田駅周辺以外の主要駅での駐輪場情報の周知 ②新しい街づくり等が計画されている地域における駐輪場の整備方針の策定	①周知開始 ②整備方針の骨子案(方向性)の策定	○	①南町田グランベリーパーク駅北口地下駐車場の満空表示システムが完成しました。満空情報は、現地のみならずwebでも見られます。 ②駐輪場に関する有識者から、駐輪場整備に関する情報収集や意見交換を行いました。	①町田駅周辺以外の主要駅における駐輪場情報の周知ツール作成を行います。 ②引き続き情報収集や意見交換を行うとともに、整備方針の骨子案(方向性)を策定します。	①町田駅と成瀬駅に加え、南町田グランベリーパーク駅でもWebでの満空情報を確認出来る満空表示システムの運用を拡大しました。 ・鶴川駅と成瀬駅周辺の駐輪場マップを作成し、現地駐輪場周辺に掲示しました。 ②事業者への聞き取りや他自治体の事例調査に基づき、整備方針の骨子案を策定しました。	①周知開始 ②整備方針の骨子案の策定	C	C:目標水準を達成したためです。	本年度策定した骨子案をもとに、次年度は、駐輪場整備方針の策定に向けた調査を行います。

順位	計画 類型	年度目標設定				中間確認		年度末確認					
		取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
5	人材 育成	「市民志向」 課内研修の実 施	課内の他係の業務内容について理解を深める研 修を実施し、緊急時における職員相互の応援がで きるよう、チームワークの構築を図ります。	研修の実施回数	3回	○	2025年度の課内研修に関する実施 計画を策定し、実施する内容と方 法を決定しました。	3回実施します。	以下のとおり、研修を4回実施することで、係 間の相互理解を深め、チームワークの構築を 図りました。 ①カスタマーハラスメント研修(オンデマンド方 式) ②「未利用地利活用」研修(部内全職員を対 象とした集合形式) ③課内各係の業務内容に関する研修(Forms でのテスト 2問×5係＝計10問) ④「未利用地利活用」研修(課内全職員を対 象としたFormsでの基礎知識向上)	4回	C	C:目標 水準を達 成したた めです。	引き続き研修を実 施することで、係間 の相互理解を深 め、チームワークの 構築を更に進めま す。

部課名		道路部道路管理課 許認可・用地管理担当											
課の使命		すべての人が道路を安全・安心で、快適に利用できるよう適切な管理を行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	-	「地図情報まちだ」に公共物管理平面図整備箇所を公開	・公共物管理平面図整備箇所を「地図情報まちだ」にて公開します。 ・周知を図るため、窓口にてポップ案内の掲示、二次元コード付案内カードの配布を行います。また、閲覧数の多い「地図情報まちだ 道路地図」に案内を掲載します。これらの案内にて公開のお知らせを行い、利用者への周知および利便性の向上を図ります。	「地図情報まちだ」で公開された境界確定箇所のページ閲覧数	月2,000回	○	6月に「地図情報まちだ」にて公共物管理平面図整備箇所を公開しました。月平均閲覧数は2,100回を超え、目標値を上回っています。	引き続き、窓口にてポップ案内の掲示、二次元コード付案内カードの配布を行い利用者への周知に努めます。	6月に「地図情報まちだ」にて公共物管理平面図整備箇所を公開することができました。また、利用者への周知に努めたこともあり、閲覧数は目標値を上回る2,276回/月を達成しました。	月2,276回	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き、利用者への周知に努め、利用者数のさらなる増加を目指します。
2	-	道路GISへの入力業務の自動化	・開発事業者から寄附等を受けた土地の申請情報を道路GISに取り込む業務について、RPAソフト(事務作業の自動化システム)を使用してデータの抽出、加工、反映を自動化します。	自動化本運用件数	1件	○	RPAソフトを使用し、道路GISに取り込む業務手順の作成を行い、検証作業を進めました。	12月の本運用開始に向けて、引き続き道路GISに取り込む業務の検証作業を進め、自動化を完了します。自動化完了後は、業務担当者へ業務手順の周知を行い、業務の効率化を図ります。	10月に開発事業者から寄附等を受けた土地の申請情報を道路GISに取り込む業務の自動化が完了しました。11月から本運用を開始し、業務の効率化に寄与することができました。自動化完了後は、マニュアルを作成し、業務担当者へ周知を行いました。	1件	C	C:目標水準を達成したためです。	自動化が完了した業務は、定期的にシステムのメンテナンスを行います。
3	-	道路占用許可申請オンライン化の推進	道路占用許可申請オンライン化の推進 ・道路占用許可申請について、過年度参加を呼びかけた水道及び下水道管理者とオンライン申請の調整を開始し、導入を進めます。	オンライン化の導入	2者(累積5者)	○	水道及び下水道管理者と調整を開始し、下水道管理者については6月に導入が完了しました。	引き続き水道管理者と調整を進め、年度内の導入を目指します。	下水道管理者は6月、水道管理者は12月に導入が完了し、オンラインでの受付を開始しました。また、一部申請者については、画面共有しながらオンラインで協議ができるよう対応するなど、マニュアルの見直しを行いました。	2者(累積5者)	C	C:目標水準を達成したためです。	オンラインでの受付件数のさらなる増加が予想されるため、引き続きマニュアルの見直しを行います。
4	事務事業見直し	未利用地の活用・売却	未利用地の売却や利用に向け、測量や財産処理に必要な調査などを実施します。	2026年度売却予定地の測量等の実施	完了	○	売却予定地が無地番であるため、表示登記に必要な地積測量を行いました。	測量結果をもとに、表示登記を行います。その後、公有財産規則にもとづく財産処理(公有財産登録および用途廃止)を行います。	・売却予定地の測量結果をもとに、表示登記を行うとともに、埋設物位置調査を行いました。 ・道路区域で未利用になっていた用地の調査・活用方法の検討を行った結果、道路区域の変更を行うことで、貸付入札を行うことができました。	・測量および調査の完了 ・貸付入札の実施	B	B:当初の目標を上回る成果が上ったためです。	他部署との調整を引き続き円滑に進め、次年度は売却に向けて市有財産活用課への引継ぎ(所管替)業務を行います。
5	人材育成	「市民志向」/課内研修の実施	課内の他係の業務内容について理解を深める研修を実施し、緊急時における職員相互の応援ができるよう、チームワークの構築を図ります。	研修の実施回数	3回	○	2025年度の課内研修に関する実施計画を策定し、実施する内容と方法を決定しました。	3回実施します。	以下のとおり、研修を4回実施することで、係間の相互理解を深め、チームワークの構築を図りました。 ①カスタマーハラスメント研修(オンデマンド方式) ②「未利用地利活用」研修(部内全職員を対象とした集合形式) ③課内各係の業務内容に関する研修(Formsでのテスト 2間×5係=計10間) ④「未利用地利活用」研修(課内全職員を対象としたFormsでの基礎知識向上)	4回	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き研修を実施することで、係間の相互理解を深め、チームワークの構築を更に進めます。

部課名		道路部道路維持課												
課の使命		道路を計画的または応急的に維持管理することで、良好な道路環境を維持し、誰もが安全かつ円滑に移動できるようにします。災害時等に、迅速に道路等の復旧を図ります。												
実行計画(年度目標)														
順位	計画 類型	取組項目	年度目標設定			中間確認		年度未確認						
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括		目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	橋梁の計画的 補修	「町田市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、幸延寺橋・馬場橋(いずれも二級河川境川)のPCB除去工事を進めます。	工事件数	2件	○	幸延寺橋・馬場橋ともに、9月に契約締結しました。	工期内(2月)の工事完了を目指します。	工期内に工事が完了しました。		2件	C	C:目標水準を達成したためです。	次年度発注工事についても、工期内に工事が完了するように、事前調整や準備を行います。
2	-	直営による橋 梁点検	①点検マニュアルを活用した橋梁点検を職員で行います。 ②災害時の橋梁点検研修を実施します。	①点検の橋梁数 ②研修回数	①10橋 ②1回	○	①直営点検を実施する橋梁の現地確認を実施し、点検計画の作成と準備を行いました。 ②研修のカリキュラムや日程の調整を行いました。	①渇水期の11月から直営による橋梁点検を実施します。 ②12月に部内職員に対して災害時の橋梁点検研修を実施し、災害対応能力の向上に努めます。	①11月から1月にかけて、10橋の直営点検を実施しました。 ②職員の災害対応能力向上のため、12月24日に災害時の橋梁点検研修を実施しました。(9名参加)	①10橋 ②1回	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き、計画的な橋梁点検と職員の育成を実施します。	
3	-	街路樹の更新	「町田市街路樹更新計画」に基づき、街路樹の伐採や植替え等の計画的な更新を行います。	実施路線数	9路線	○	6路線について伐採作業が完了しました。 3路線については、伐採作業が円滑に行えるよう、地域住民との調整を図りました。	3路線について、引き続き地域住民との調整を行い、伐採に対する理解を得たうえで作業を実施します。	「町田市街路樹更新計画」に基づき、9路線の伐採が完了しました。(忠生1302号線、忠生1304号線、南65号線、南747号線、南1002号線、南1806号線、町田439号線、南1602号線、南1604号線)	9路線	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き、「町田市街路樹更新計画」に基づき、地域住民との調整を行い、伐採に対する理解を得たうえで作業を実施します。	
4	個別 計画	道路昇降機 (エレベーター・エスカレーター)の予 防保全型維持 管理	「町田市道路昇降機管理計画」に基づき、成瀬駅南口エレベーターと成瀬駅南口上りエスカレーターを更新します。	更新基数	2基	○	成瀬駅南口上りエスカレーターについては5月に契約締結し、工場製作に着手しました。また、エレベーターの工事期間中の車いす利用者の対応について調査・検討致しました。	成瀬駅南口上りエスカレーターとエレベーターは、それぞれ2025年12月と2026年2月の工事完了を目指します。	工事期間中、車イス利用者への対応として階段昇降機を導入し、福祉のまちづくり条例に配慮しながら、工期内に工事が完了しました。	2基	C	C:目標水準を達成したためです。	次年度以降も長期契約に向けた準備を進め、計画的に更新できるよう準備を行います。	
5	事務 事業 見直し	土木・公園 サービスセン ター資材置 場、倉庫の再 編	・土木・公園サービスセンターの施設機能の再編について準備を進めます。 ・資材置場の仮移転先の確保と調整を進めます。	資材置場の仮移転先	調整完了	○	資材置場の仮移転先について調整を進めました。	引き続き、再編に向けた準備を行います。	土木・公園サービスセンターの施設機能の再編について準備を進めました。執務室、資材置場の移転について調整を行い、仮移転先、及び本移転先が確定しました。	調整完了	C	C:目標水準を達成したためです。	次年度から土木・公園サービスセンターの再編を進めます。	

順位	計画 類型	年度目標設定				中間確認		年度末確認					
		取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
6	事 務 事 業 見 直 し	技能・労務系 業務のあり方 及び包括的民 間委託による 担い手の変更	2026年4月1日契約に向けて、プロポーザルの準備 や仕様書作成等を進めます。	契約準備	完了	○	仕様書の内容確認や実施につい ての方針決定を行うなど、契約に向 けて準備を進めました。	引き続き、契約に向けた 準備を行います。	2026年1月にプロポーザルの募集を公表し、3 月に契約候補者を決定しました。	完了	C	C:目標 水準を達 成したた めです。	2026年度からの業 務を円滑に行える よう準備を行いま す。
7	人 材 育 成	「市民志向」	職員が、チェーンソー研修等の特別教育を受講、 資格を取得し、災害や緊急時に迅速に対応するこ とで、市民満足度の向上を目指します。	特別教育等修了人数	延べ5名	○	上半期は、高所作業車運転技能講 習を1名修了しました。	延べ7名分の特別教育 等の受講修了を目指しま す。	公務災害防止の観点から受講者を増やし、年 度当初の目標を上回る延べ16名分の特別教 育等の受講修了しました。	延べ16名	C	C:目標 水準を達 成したた めです。	2026年度も引き続 き職員が特別教育 等を受講すること で、災害や緊急時 に迅速に対応でき るようにします。